

◎あとかぎ

ご入学、ご入職おめでとうございます。

心躍らせて、臨床検査技師を目指して専門学校・保健学科検査技術科に入学された新入学生さん。溢れるばかりの臨床検査に関する知識と技術を身につけて、いよいよ患者さんと向き合うことになる新入技師さん。新しい環境のもとで、勉学に、検査業務に日々精進してください。

臨床検査は医療にとってはなくてはならない実学で、疾病の診断ばかりでなく、治療効果の判定、予防医学のうえで極めて重要な役割を果たしています。血液・尿を用いた臨床検査はデジタルで表記されるため、一般市民も簡単に異常を知ることができます。

4月号をお届けします。関節リウマチ、急性中耳炎などの病気から、臨床化学の精度管理、加算平均心電図、不規則性抗体、マンモグラフィ、真菌感染症など臨床検査の技術に関する論文など多岐にわたっています。個人的には「TOPICS」の「iPS細胞—輸血医療への応用の可能性—」を興味深く拝読しました。iPS細胞は山中伸弥教授がノーベル生理・医学賞を受賞してから脚光を浴び、ほとんどの日本人がiPS細胞を知ることになりました。すでに網膜色素変性症への臨床応用の許可も下り、再生医療の最終兵器として注目を浴びています。この論文では、血液幹細胞やES/iPS細胞からの赤血球の人工生産について詳細に説明し、希少な血液型(Rhnullや-D-など)での有効性を論じています。論文によれば近い将来、iPSからの赤血球を輸血することが可能であり、輸血療法は新展開が期待されます。

雑誌『検査と技術』は検査技師学生のための基本的な事項から、検査技師となってから必要な専門的分野まで幅広い内容の雑誌です。学校や職場で、臨床検査に関しての質問や疑問に遭遇したら、編集委員会までご連絡ください。学習支援・就業支援こそがわれわれの役目と考えています。

さあ、『検査と技術』と一緒に、新たな目標に向かってがんばりましょう。(高木 康)

◎5月号予告 第41巻5号(2013年5月号)

病気のはなし

播種性血管内凝固症候群(DIC) ————— 朝倉英策
技術講座

一般：尿沈渣における血球形態の鑑別 —— 宿谷賢一
輸血：小児の輸血(赤血球製剤の分割使用)

————— 伊井野潤子, 他
生理：シリーズ：基礎から学ぶ神経伝導検査—信頼
されるデータを導き出すために

2. 感覚神経伝導検査 ————— 高橋 修
疾患と検査値の推移

乳癌 ————— 杉山和義
ワンポイントアドバイス

「基準値」と言う言葉を正しく使う ——— 市原清志
Laboratory Practice

病理：胃底腺型胃癌 ————— 八尾隆史, 他
病理：オートプシー・イメージング — 稲井邦博, 他

病理：c-myc 免疫染色の有用性 ——— 畑中佳奈子
検査値を読むトレーニング 信州大学 R-CPC

第17回 ショック状態で入院となった80代男性
————— 本田孝行, 他

臨床医からの質問に答える

細菌の菌量の表示法 ————— 柳沢英二
第59回臨床検査技師国家試験—解答速報

今月の表紙/ラボクイズ/臨床検査のピットフォール/
トビックス/けんさ外国語会話/他

◎ラボクイズ当選者

第41巻2号(2013年2月号)

森 智子(宮崎市)/中山麻美(名古屋市)/
高橋 寛(仙台市)

◎編集委員

高木 康
(編集主幹)
伊瀬 恵子
曾根 伸治
館田 一博
種村 正
手島 伸一
矢富 裕
(五十音順)

検査と技術

2013年4月1日発行(毎月1日発行)
定価 1,575円(本体1,500円+税5%)

2013年年間購読料(送料弊社負担, 税込, 増刊号を含む13冊)

冊子版	22,590円	電子版/共有	26,000円
電子版/個人	22,590円	冊子+電子版/共有	31,000円
冊子+電子版/個人	27,590円		

発行 株式会社 医学書院	電話 本誌編集室直通(03)3817-5713	販売部直通 (03)3817-5659
代表者 金原 優	ファクシミリ (03)3815-7802	振替口座 00170-9-96693
☎113-8719	E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp	印刷 (株)アイワード (011)241-9341
東京都文京区本郷 1-28-23	http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/	広告取扱 (株)東 広 社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】(社)出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。

(担当 山本・井上・能藤)